

家族看護学	1年・後期	1単位 15時間	教授 島田 昇 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210621

1. 授業のねらい・概要

家族を対象とした看護は、どのような看護の領域においても重要である。本科目では、家族看護の諸理論および家族を対象とした看護過程の展開を通して家族への看護について理解する。このことが、家族のエンパワーメントを支えるケアに繋がり、家族支援のあり方について考察することができる。

2. 学修の到達目標

1. 家族看護の基本となる家族システム理論について説明できる。(D-2)
2. 家族看護の基本となる家族発達理論について説明できる。(D-2)
3. 家族看護の基本となる家族セルフケア理論について説明することができる。(D-2)
4. ジェノグラムを作成することができる。(D-2)
5. エコマップを作成することができる。(D-2)
6. 高齢虐待事例を通じて、支援の方法について考察し、実践することができる。(D-2)
7. 終末期在宅療養者とその家族への支援の方法について考察し、実践することができる。(D-2)
8. 家族を対象とした家族のアセスメント5項目について述べるすることができる。(D-2)
9. 社会資源についてフォーマルサービスとインフォーマルサービスについて区別することができる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義と、演習では個人ワーク・グループワーク・ロールプレイを中心に進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、グループワーク、ロールプレイを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google Classroomによる学習課題の提示。Gmailによる学習教材の配信。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	家族の定義・機能	講義	予習：家族看護学、家族のエンパワーメントを支えるケア「家族を看護すること」p10～33を読んでまとめる。 復習：講義内容の家族システム理論・家族発達理論・家族のセルフケアについて教科書を使ってまとめておくこと。	島田昇
2	家族看護過程の特徴	講義	予習：家族看護学、家族のエンパワーメントを支えるケア「家族を看護すること」p11～33を読んでまとめる。 復習：講義で提示されて事例についてのジェノグラム、エコマップを作成するこ	島田

			と。	
3	家族看護過程事例展開① (高齢者虐待事例に対する支援法についてグループで考察)	演習	予習：高齢者虐待事例 A (ペーパー・ペイシエント) をよく読み、訪問看護ステーション実習を想定し、観察項目、家族への聴取項目をグループで考えておくこと。 復習：高齢者虐待事例 A (ペーパー・ペイシエント) のジェノグラム、エコマップを作成し、看護展開をすること。	島田 他
4	家族看護過程事例展開② (高齢者虐待事例に対するロールプレイ)	実習/ 実技	予習：高齢者虐待事例 A (ペーパー・ペイシエント) の看護展開についてグループで話し合うこと。 復習：高齢者虐待事例 A (ペーパー・ペイシエント) の看護展開を完成させる。	島田 他
5	家族看護過程事例展開③ (終末期在宅療養者と事例に対する支援方法についてグループで考察)	演習	予習：終末期在宅療養者事例 B (ペーパー・ペイシエント) をよく読み、訪問看護ステーション実習を想定し、観察項目、家族への聴取項目をグループで考えておくこと。 復習：終末期在宅療養者事例 B (ペーパー・ペイシエント) のジェノグラム、エコマップを作成し、看護展開をすること。	島田 他
6	家族看護過程事例展開④ (終末期在宅療養者事例に対するロールプレイ)	実習/ 実技	予習：終末期在宅療養者事例 B (ペーパー・ペイシエント) の看護展開についてグループで話し合うこと。 復習：終末期在宅療養者事例 B (ペーパー・ペイシエント) の看護展開について完成させる。	島田 他
7	家族看護の基本となる諸理論	講義	予習：家族看護学、家族のエンパワメントを支えるケア「家族と援助関係を構築する」 p56～を読んでまとめる。 復習：講義内容のエンパワメント・看護者に求められる基本姿勢について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
8	家族看護過程のまとめ 知識試験	講義	予習：家族看護学、家族のエンパワメントを支えるケア「家族への看護アプローチ」 p76～118 を読んでまとめる。 復習：講義内容の家族セルフケア支援・家族の役割調整・二重 ABCX モデル・社会資源について教科書を使ってまとめておくこと。	島田

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，演習課題（ロールプレイ）30%で総合的に評価する。合格基準は60%以上とする。合格基準に満たない（60%未満）場合は、単位認定できない。成績評価は「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細については、第1回講義内で別途説明する。

演習課題（ロールプレイ）について、演習内容、演習方法、提出期限、提出方法（場所）、評価の基準詳細は、第1回講義内で紙面にて提示する。

定期試験の出題範囲及び出題方法等は、講義内にて口頭で説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：中野綾美，瓜生浩子：家族看護学 家族のエンパワーメントを支えるケア メディカ出版.
2021

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲について最低90分以上の予習及び、授業内容について90分以上の復習を実施すること。

8. 受講上の留意事項

テキストの指定された範囲を熟読した上で授業に臨むこと。

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。

講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び、医療機関での保健師としての勤務経験を活かして、講義・演習を行う。